

## 土木構造物荷重指針連合小委員会 第4回 議事録(案)

日時 : 2003年10月10日(金) 13:00~15:30

場所 : 鹿島建設株式会社 KIビル 2階 ラウンジ

出席者 : 白木副委員長、本城副委員長、佐藤幹事長、香月委員、勝地委員、金委員、斉藤委員、長尾委員、佐々木幹事、相内ガザハ

主要議題 : 1) 前回議事録の確認  
2) 目次案に関する討議(佐藤幹事長、本城副委員長)

配布資料 : 4-0) 議事次第

4-1) 第3回 議事録(案)

4-2) 目次構成私案(第2版)(佐藤幹事長)

4-3) 目次構成私案(たたき台)(本城副委員長)

4-4) 【参考】建築物荷重指針・同解説

主な討議 (発言者、敬称略)

### 1. 前回議事録の確認(【資料4-1】を読み合わせにより確認)

- ・ 地盤作用に関する議事録の記述について、鈴木委員に内容の確認すること。

### 2. 目次案に関する討議

#### (1) 全体について

- ・ これまで荷重指針の全体像について討議してきたが、これからは各分野、すなわち作用ごとの具体的な策定作業へと進めていきたい。(佐藤)
- ・ 性能設計では設計の手段は原則自由であるが、荷重指針では、荷重の取り扱いに関する共通かつ基本的な考え・手順を示す。そうすることによって、個々の設計作業の自由度は保たれる。(白木、佐藤)
- ・ データベースの構築については具体的な話はでていないが、ホームページなどを介して設計者がデータに自由にアクセスできる仕組みが考えられる。恒常的なメンテナンスの方法についても今後議論すべき。(佐藤)
- ・ 荷重を考える上での土木と建築との差異について、すなわち構造物の種類によって応答レベルあるいは荷重効果のレベルで違いがでることについて荷重指針では明記すべき。(佐藤)
- ・ 動的作用、偶発作用、すなわち確率的な取り扱いが難しい荷重について留意すべきである。(佐藤)

#### (2) 【資料4-2】佐藤幹事長の目次案について

- ・ 目次構成私案について佐藤幹事長から説明がなされた。
- ・ 本編を 章「土木における荷重・作用論」、 章「荷重・作用各論+データベース・リンクの構築」とし、ここで性能設計における荷重の原則論を示す。(詳しい章立ては【資料4-2】参照のこと)
- ・ 対象とする荷重の範囲については追加の議論が必要かもしれない。例えば、地盤作用についての水圧や雪荷重。(佐藤)

#### (3) 【資料4-3】本城副委員長の目次案について

- ・ 目次構成私案について本城副委員長から説明がなされた。
- ・ 前回の佐藤幹事長と佐々木幹事が用意した目次案に関する内容を一通り盛り込んだものになっている。(本城)
- ・ 佐藤先生の章立ては指針というよりむしろ報告書に近い構成になっていると感じた。本城案では、主張したい内容、すなわち本委員会で主張する荷重の考え方や枠組みを前面に(かつ簡潔に)押し出した。現状分析や荷重に関する既往成果の紹介は付録に回した。本編は「部 一般論」, 「部(各作用の)各論」, さらに付録の構成とした。(本城)
- ・ 「一般論」は性能設計と作用との関連、荷重(作用)因子、作用の分類と特性値、そして組み合わせについて示す。(本城)
- ・ 特性値の取り扱い、例えば算定方法について共通のルールを示したい。(本城)
- ・ 特性値の表現では、すでに部分係数と同等の扱いになっている印象を与える。これには、設計に用いる地震波のようなものも含まれるのではないか。(長尾)
- ・ 指摘は的を得ており、特性値の言葉づかいについては、検討する。(本城)
- ・ 「一般論」で基本方針を紹介する項を設けたらどうか。「土木構造物荷重指針作成に向けて～枠組みとガイドライン～」では、基本方針の項を設けている。また、極地統計についても付録に追加したらどうか。(香月)
- ・ それは、「統計的手法による作用モデルの構築」に含まれている。(本城)
- ・ 用語としては、荷重ではなく作用で統一すべきことを改めて提案する。そうした場合、荷重因子→作用因子となる。(本城)
- ・ 荷重因子は、構造物の特性と切り離して扱うことができるレベルで定義するのが原則である。そうすることによって、構造物を問わず適用することができる。(佐藤)
- ・ 具体的な数値・数字まで示すのか。(勝地)
- ・ 付録に示すことが考えられる。付録はなるべく多くのものを載せたい。付録相互の内容が多少整合がとれないものがあったとしても許容したい。(本城)
- ・ 環境的作用の範囲は?(金)
- ・ 力学的な作用とは別に、コンクリートなどの腐食や劣化を引き起こすもの、例えば化学的作用である。(本城)
- ・ 活荷重の実態を表すデータも荷重指針の対象とすれば、さらに有用なものになる。(斉藤)
- ・ 斉藤委員の提案に賛同する。(香月)

#### (4) 今後の進め方について

- ・ 本城案をベースとした場合、まず「部 一般論」を議論すべきと考える。(白木)
- ・ 「部 一般論」を議論する幹事会を早急に立ち上げたい。各荷重を執筆する際に中心となるであろう委員の方々には幹事会に入ってもらい、基本的な枠組み、すなわち「部 一般論」について合意を得たい。合意した内容を次回の全体委員会(第5回、11/28)に諮る。第一回の幹事会は11月11日(火)に開催する。具体的なメンバー、開催要領については佐々木幹事より周知する。(佐藤)

### 3. 次回の予定

第1回幹事会 11月11日(火) PM (詳細は追って連絡)

第4回委員会 11月28日(金) 17:00~20:00

場所: 鹿島建設 KIビル 2階 ラウンジ

以上